

日野原重明先生「健康講演会」 ▶昨年100歳を迎えられた日野原先生が講演

昭和53年から市の健康づくりにご協力いただいている日野原重明先生による「健康講演会」を3月20日、市民会館ホールにおいて開催しました。

「中野市の伝統と将来のビジョン」と題した講演では、「自分の運命をデザインするためには、よいモデルが必要」「中野市民の生活習慣を日本のモデルにしよう」と語られました。約1000人が来場した会場では、先生のユーモアを交えたお話に絶えず笑いが起こっていました。



信州 なつなのシンボル



NAKANANO スナッツ

市民ソフトバレーボール大会 ▶白熱したゲームが繰り広げられました

3月9日、市民体育館において、第7回市民ソフトバレーボール大会を開催しました。

本大会は、比較的手軽に取り組めるソフトバレーボールを通じて市民スポーツの振興を図ることを目的とし、本年度通算16回目となりました。

当日は、一般女子の部に8チーム、男女混合の部に8チーム、ファミリーの部に12チーム、計136人が参加、仲間や家族と一緒に爽やかな汗を流していました。



小中学校・卒業証書授与式 ◀学校生活の思い出を歌にのせ巣立つ卒業生ら

3月15日に市内の11小学校、また、16日に4中学校で卒業証書授与式が行われ、小学生487人、中学生510人が卒業しました。

式では、在校生や保護者など大勢の出席者の見守る中、卒業生が入場し、校長先生から一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業生は、学校生活の数々の思い出を胸に、大きな夢や希望に向かって新たな道を歩み出しました。
(写真：豊田中学校)

小沼区「餅かえ行事」 ▶「わらつと」を交換し合う子どもたち

農作業の仕事始めとされる事八日の3月8日、市無形民俗文化財に指定されている小沼区の「餅かえ」行事が行われました。

当日は、祭典委員長によるホラ貝の音を合図に、早朝から庚申塔前に区民らが寄り集まり、無病息災や家内安全、五穀豊穡などを願って「あん」や「きな粉」の餅をわらで包んだ「わらつと」を互いに交換しました。

また、終了後には「わら馬」の抽選会も行われました。



中野平中学校生徒会が絵本を寄贈 ◀絵本の読み聞かせに喜ぶ園児たち

3月5日、中野平中学校生徒会の「ふれあい委員会」が平野保育園に絵本を寄贈しました。

当日は、生徒6人が保育園を訪れ、約3万個のアルミ缶収集により得た資金で購入した絵本8冊を園児たちに手渡しました。

また、35人の園児を前に生徒らは寄贈した絵本の1冊「きょうりゅうのラーメン」の読み聞かせを行ったほか、ころがしドッジボールなどで交流しました。

表紙の説明

中野土びな特別展

3月14日から4月1日まで中野陣屋・県庁記念館において、中野土びな特別展が開催されました。

中野ひな市にあわせ、中野の土びなをより多くの方に知っていただくため、「ようこそ信州中野 土びなの里へ」をテーマに、市内の収集家が所有する土びなが展示されました。

期間中は、市内外から大勢の方が訪れ、普段目にすることができない貴重な土びなを鑑賞していました。



土人形絵付けコンテスト表彰式 ◀表彰を受ける受賞者の皆さん

土人形の愛らしさと絵付け体験の楽しさを身近に感じてもらうと実施した「土人形絵付けコンテスト」の表彰式を3月25日、中野陣屋・県庁記念館で開催しました。

本年度は、奈良家の人形型と新たに西原家の人形型を題材に加えて実施、小学校低学年、同高学年、一般の各部門に計478点のご応募をいただきました。審査の結果、各部門ごとに最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作10点が入選、受賞者に表彰状をお渡ししました。